

令和6年第7回奥出雲町教育委員会定例会会議録

日 時 令和6年7月19日（水）
開 会 15時00分
閉 会 15時52分
場 所 横田庁舎 3階 大会議室
出席委員 福田教育長職務代理者 谷尻教育委員 松崎教育委員
小林教育委員

委員会事務局 高尾課長、江角課長代理、藤原指導主事

教育長

今月の定例会は、報告のみです。

コロナの感染が原因で7月中旬ごろに町内のいくつかの小中学校で学年閉鎖がありました。全国的にコロナが猛威を振っているため、一段と注意する必要があると感じています。

5月から6月にかけて各団体の総会などが開催され、教育委員会関係だけでも10を超える会議がありました。教育委員の皆さんも会議に参加していただき、ありがとうございました。

7月20日から8月18日まで三成公園プールと横田小学校水泳プールを一般開放するにあたり有線放送などを通じて監視員の募集を行いました。町民の方から詳しい内容をホームページに掲載して欲しいという旨のご意見をいただきました。監視員には、目途がつかいましたが、ホームページの活用にも力を入れたいと考えています。

○教育長諸般の報告

・前期学校訪問

今年は、島根県野津教育長が島根県内の小中学校を訪問する予定にしており、6月28日に奥出雲町にいらっしゃいました。県の方から町内の小学校2校に訪問したいと指定があったため、再編統合校となる横田小学校と三成小学校に訪問していただくことにしました。各小学校1時間程度の訪問をしていただき、管理職に教育活動の説明を求められたり、ご自身のお考えなどをお話されたりしました。野津教育長からは、働き方改革、学力育成、小中連携・接続の3点を特に重要視していらっしゃいました。

・働き方改革

野津教育長がキーワードとしてお話されていたのが「意識改革」です。経験を積み重ねた教員ほど自身のやり方を持っているため、仕事を早く切り上げることが難しく、日々、疲れが蓄積していくのではないかと危惧されていらっしゃいました。そのため、掃除をしない曜日を作るなど、5分、10分の小さな積み重ねを大切に、意識改革をしていって欲しいとおっしゃっていました。合わせて、管理職もリーダーシップを持って

事務局

	見通しを持ちながら働き方改革を進めて欲しいということもおっしゃっていました。 ・学力育成 昨年度の知事発言の中で全国学力調査の小学校の算数の椅子問題が取り上げられ、今年の春に小学校6年生を対象にその問題を解かせる取り組みが行われました。野津教育長は、定点観測という言葉を用い、その取り組みを毎年行い、その年に対象となった児童の理解度や習熟度を観測し続けることで改善・検証の1つの材料にしてみてもどうかというご提案をされました。また、全国学力調査の問題は、学習指導要領に謳われている資質・能力の具現化のために作られた問題なので、全国学力調査の対象である小学校6年生と中学校3年生の担任教員以外の教員にも学力育成や授業づくりに生かして欲しいとの要望もおっしゃられていました。 家庭学習についても授業と家庭学習の引っ付き方が重要であり、授業で習った内容と家庭で取り組む宿題の内容がリンクしていなければ意味がないとおっしゃっていました。そのため、教員は、授業と家庭学習がリンクするようにコントロールして欲しいともおっしゃっていました。 ・幼小連携・接続 小学校6年間、中学校3年間のあらゆる活動に影響するため、1年生の入門期の最初の学校づくりが非常に重要であるとおっしゃっていました。奥出雲町では、7月中旬から9月にかけて町内の全ての幼児園訪問を予定しており、町内の小学校長にも現在、案内を出しています。そのような取り組みは、学校づくりに非常に有効であると野津教育長はおっしゃっていました。
福田委員	家庭学習の内容と授業の内容がリンクしていないと子どもたちは家庭学習に取り組みにくいです。そのため、教員の皆さんには頑張っていただきたいと思います。
教育長	今回の野津教育長の訪問は、島根県内の教育長会からの要望で実現しました。 ・前期学校訪問 6月6日から7月12日にかけて前期学校訪問を行いました。前期学校訪問は、テーマを決めて学校訪問を行うことになっており、今年のテーマは「いじめ防止基本方針」でした。いじめ防止基本方針は、各学校で作成されていますが、その説明を受け、アドバイスをを行いました。特に生命にかかわる重大事態には、慎重な対応が必要であることを改めてお話しました。 ・町議会（空き校舎利用活用特別委員会設置） 6月25日に開催された町議会で空き校舎利用活用特別委員会が設置されました。小田川謙一議員が委員長、北村千寿議員が副委員長を務め、委員として内田雅人議員、糸原壽之議員、糸原文昭議員、高橋恵美子議員の4名がいらっしゃいます。政策企画課が主な窓口ですが、教育委員会も様々な形で関わっていく必要があると考えています。

事務局	・ 出雲教育事務所長訪問 7月2日に出雲教育事務所長が奥出雲町教育委員会を訪問されました。主に教育行政の構想と管理職人事配置の計画について奥出雲町としての考え方を聞かせて欲しいということでした。私の方からは、今年策定した奥出雲教育大綱、小学校統合、奥出雲町教育支援センター「かたくり」、奥出雲町架け橋プログラム、地域連携コーディネーターの配置、統合を踏まえた人事異動の考え方についてお話をしました。統合を踏まえた人事異動では、児童や保護者の方が安心できるように各学校から教員が1名ずつ配置されるように、前年度から引き続き要望をしています。また、統合に伴って異動することに教員に不利益が生じないように重ねてお願いをしています。 ・ 学校閉庁日について 8月13日から8月16日を学校閉庁日として通知しました。今年度は、150周年や閉校式が控えており、なかなか休みを取りにくいとは思いますが、働き方改革などもありますので休める日は休みをとって欲しいと考えています。 ・ 総合教育会議 7月29日。前回、決定しなかった横田地域統合小学校の校章のデザインについて改めて協議させていただきます。 ・ 閉校式 令和7年3月22日に高尾小学校、令和7年3月23日に横田小学校、八川小学校、馬木小学校の閉校式を予定しています。また、仁多地域の他の小学校の閉校式の日程については、教育委員会で指定し、令和8年3月21日に布勢小学校、三成小学校、亀嵩小学校、令和8年3月22日に阿井小学校、三沢小学校を予定しています。 参加者4名 ※開会宣言 教育委員の出席者数を確認し、会議の成立を宣言 ※会議録署名委員 小林委員 ○令和6年奥出雲町議会第3回臨時幹（令和6年7月26日開催）について ・ 令和6年度奥出雲町一般会計補正予算 ※資料により説明。 10.2.1 小学校管理費 47万9,000円 ・ 消防設備点検で指摘のあった個所の補修 ・ 横田小学校教室棟のエアコンの修理費 横田小学校の教室棟でエアコンが効かない教室があるため、臨時的に1階の会
-----	---

	議室を利用している状況です。そのため、早急な修理を行う計画にしています。 10.3.1 中学校管理費 80 万 1,000 円 ・ 消防設備点検で指摘のあった個所の修繕。 ・ 横田中学校の技術教室床等修繕 横田中学校の技術教室棟の床が老朽化によって穴が開く危険性があるため、夏休み期間中に修繕する計画にしています。 10.4.1 社会教育総務費 50 万円 ・ 全国大会等出場激励事業 パリオリンピックに出場が決定した 3 名の方に対する激励金として補正を出しています。 10.4.3 文化財保護費 1075 万 5,000 円 ・ 文化的景観保護推進事業 当初は、たたら角炉の大屋根の半分だけを修繕する計画でしたが、文化庁から計画変更の打診があり、大屋根の全てを修繕する計画になりました。それに伴い、文化庁から 699 万円の補助金が交付されます。その補助金に町から 376 万 5,000 円を追加し、修繕する計画にしております。 ・ 仁多地域統合小学校新築工事、横田地域統合小学校改修工事の請負業者 7 月 11 日に入札が行われ、全て落札されました。7 月 26 日の臨時議会で議会議決が出るまでは、仮契約の状態です。 本日までを三成小学校校舎解体の工期としていましたが、体育館側の杭を抜く作業中に機械が壊れたため、業者に早急な対応を求めています。今のところ盆前には撤去が終わる見込みだと聞いていますが、万が一、杭が抜けなかった場合に備え、現在、設計業者に対してその場合の基礎の工法を検討するように指示をしています。
教育長	質疑などがありましたらお願いいたします。
小林委員	2 点ほど質問をさせてください。 教員の働き方改革が進み、いままで参加していた地域の行事などに教員の方が参加されなくなってきました。そのため、地域の方と学校の関係がこじれてしまっている部分があります。地域の方に対しても教員の働き方改革について周知した方がいいと思いますが、そのような機会はないのでしょうか。
事務局	方法としましては、広報への掲載、全戸配布、または回覧などがあろうかと思います。
教育長	さっそく対応させていただきたいと思います。

小林委員	2点目ですが、八川の資料館は文化財保護事業の補助金に該当しないのですか。
事務局	該当しません。事務局では、茅での修繕は困難だと認識しています。以前は、地元の方に茅の刈り取りをお願いし、それを修繕に使っていましたが、高齢化などによりそれが困難になっています。また、茅の購入についても一束が非常に高価であるため1億円程度の修繕費がかかるのではないかと推測しています。やむを得ない場合は、瓦棒葺きにするしかないのではないかと事務局では考えています。
教育長	他に質疑などはありませんか。
谷尻委員	登下校時や家庭学習の際にタブレットを故障させてしまった事例はありますか。
事務局	児童生徒に起因する故障はあったかもしれませんが、保護者の方に修理費を請求する事象はなかったと認識しています。
教育長	タブレットの持ち帰りは、学校によって差があります。 奥出雲町では、令和7年度にタブレットの更新時期を迎えます。現在、島根県内で協議会を立ち上げ、県内で同一のタブレットを使用できるように協議を行っています。
谷尻委員	教員の働き方改革で地元の運動会などに教員の方が参加しなくなっていますが、それでいいのかなという気持ちもあります。地域力がだんだん落ち込んでいくのではないかという気がしています。
事務局	働き方改革を進めている県や事務局の立場としては、教員の方に参加のお願いするのは難しいのが現状です。
教育長	管理職、特に教頭の時間外勤務が多くなる傾向が全国で見られます。校長会のたびに話をしていますが、なかなか改善ができていません。
谷尻委員	中間管理職が一番つらい立場かもしれません。
福田委員	校長と教頭が常に話し合いをしながら物事を進めている学校は上手に運営をしていますが、校長と教頭の間に意識のずれがある学校はなかなか大変だと思います。
教育長	過去と現在の時間外を数字で比較すると、かなり削減されています。

< 次回定例会は8月19日（月）午後 15時00分から（予定） >

会 議 録 署 名

署名委員

小 林 勝 吾

教育長

川 本 健 二